

令和元年度

区役所・相談支援室の取組み 状況について

◆国が定める8つの事業項目～大阪市の取り組み体制

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- ・地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- ・情報を整理し、リストやマップ等の必要な媒体を選択して共有・活用

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ・地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題を抽出、対応策を検討

(カ) 医療・介護関係者の研修

- ・地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、他職種連携の実際を習得
- ・介護職を対象とした医療関連の研修会を開催

(キ) 地域住民への普及啓発

- ・地域住民を対象にしたシンポジウム等を開催
- ・パンフレット、区広報紙、HP等を活用した在宅医療・介護連携に関する普及啓発
- ・在宅での看取りについての講習会の開催等

区役所を中心に事業実施

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ・地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの一体的な提供体制の構築を推進

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・情報共有シート等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ・在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ・医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターを配置し、相談窓口の設置・運営により、連携の取組みを支援

(高齢者等在宅医療・介護連携相談支援事業として)

地区医師会等に委託

『在宅医療・介護連携
相談支援室』を設置・運営

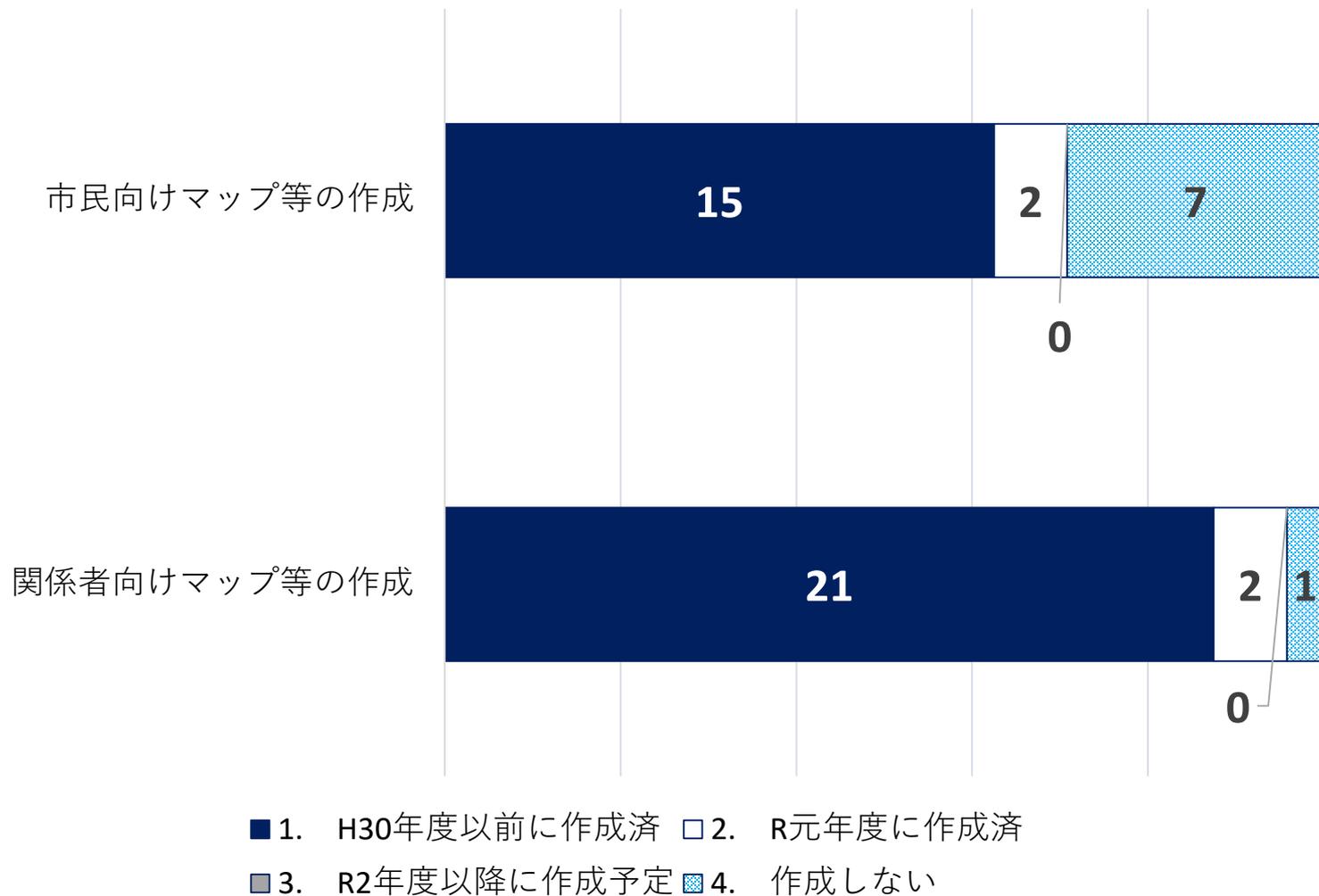
健康局を中心に検討

連携

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ・同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

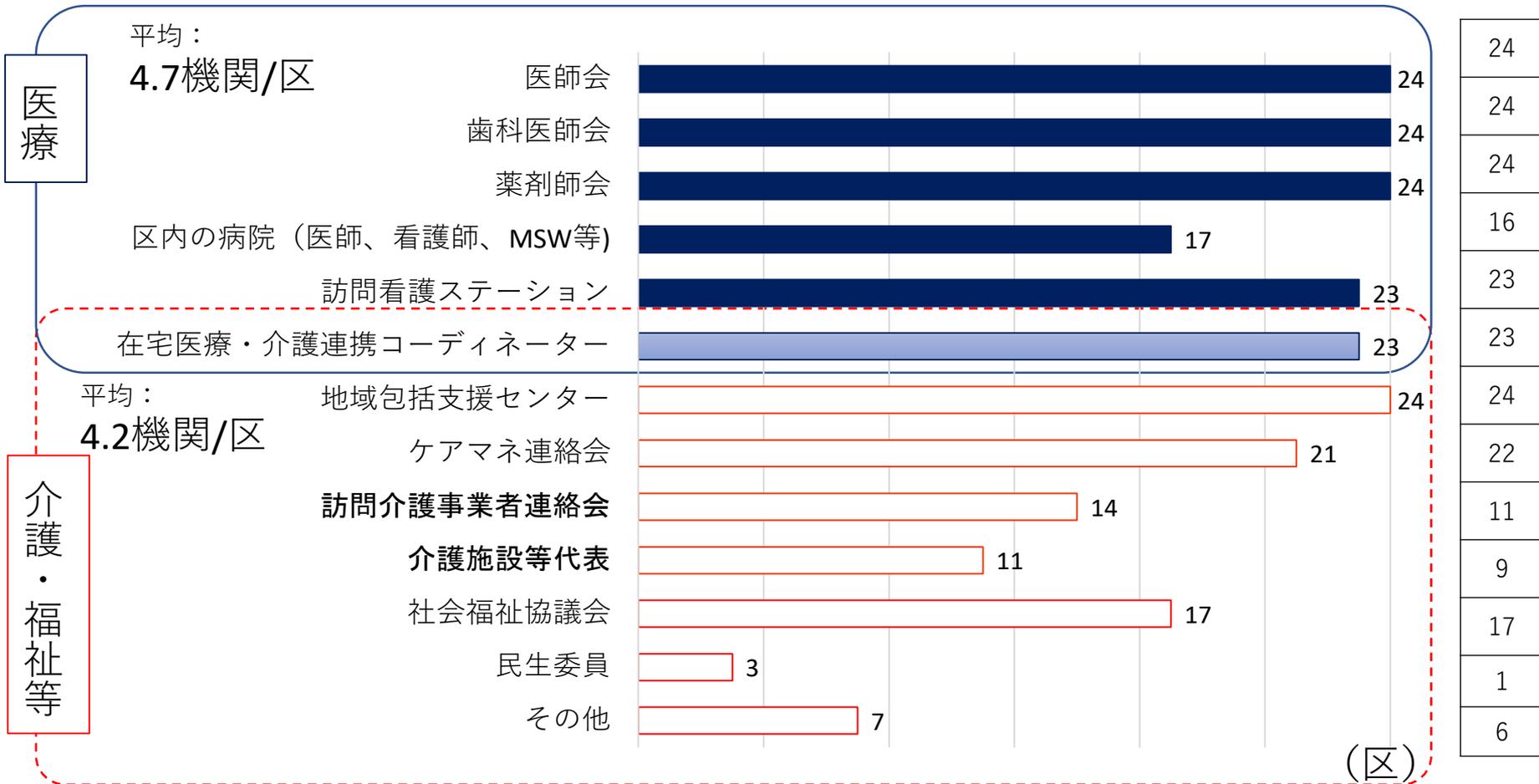


市民向けマップを作成しない理由：他の関係機関が作成・マップナビ大阪を活用

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その1

各区在宅医療・介護連携推進会議 医療介護関係者の参加状況（部会等除く）

平成30年度



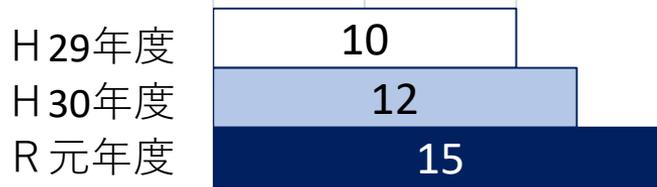
その他：7区で12機関が参画。

通所介護事業者連絡会、障がい者相談支援センター、認知症初期集中支援チーム 等

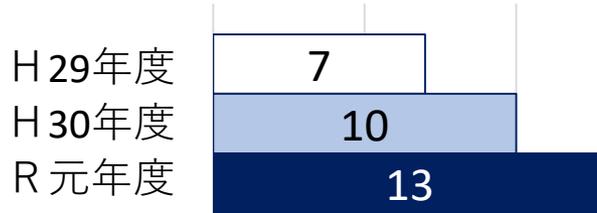
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その2

推進会議で検討した内容

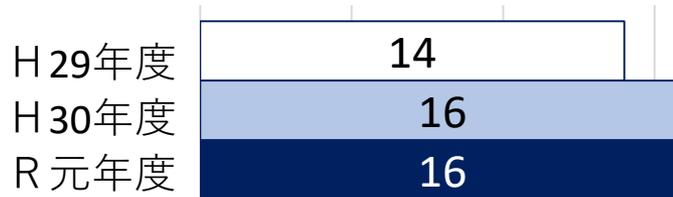
【地域における在宅医療介護連携に関する目標の設定について】



【地域における在宅医療介護連携の取組みを評価する】



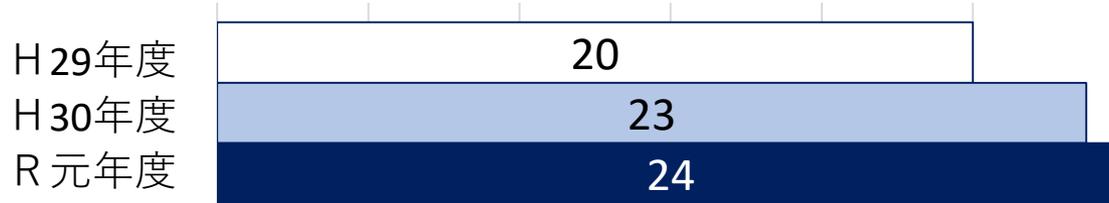
【地域における在宅医療介護連携の進捗状況について】



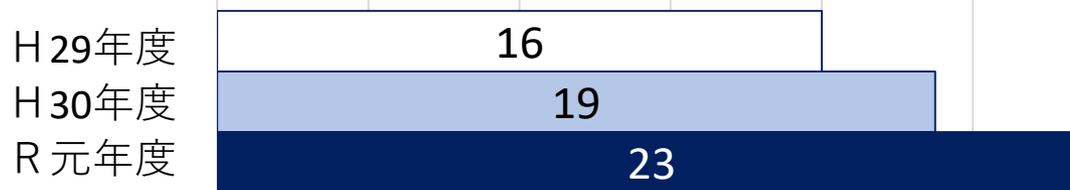
目標設定・取組評価・進捗管理といった事業評価の項目について検討する区が増えているが全区には至らず6割程度の現状である。

推進会議（部会含む）での取組み状況

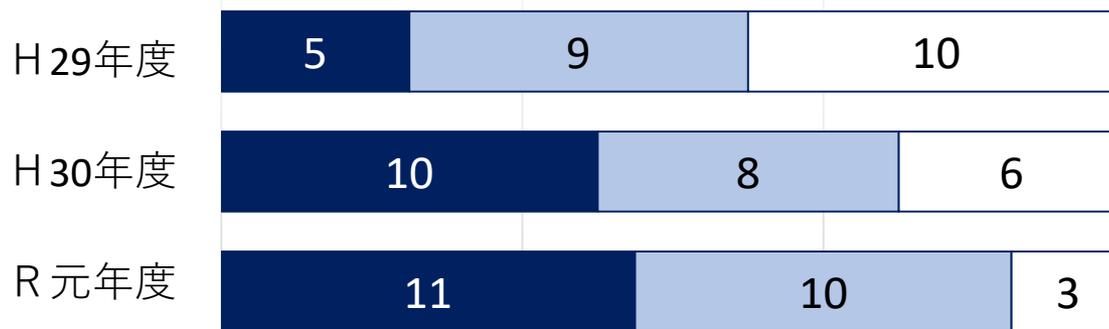
【異なる職種・団体同士が会する場における、専門職が抱える課題・ニーズの抽出・共有や対応策の検討】



【地域の医療・介護関係団体等が参画する会議の地域全体の現状・課題、目指すべき理想像の検討】



抽出された課題への対応策の進捗

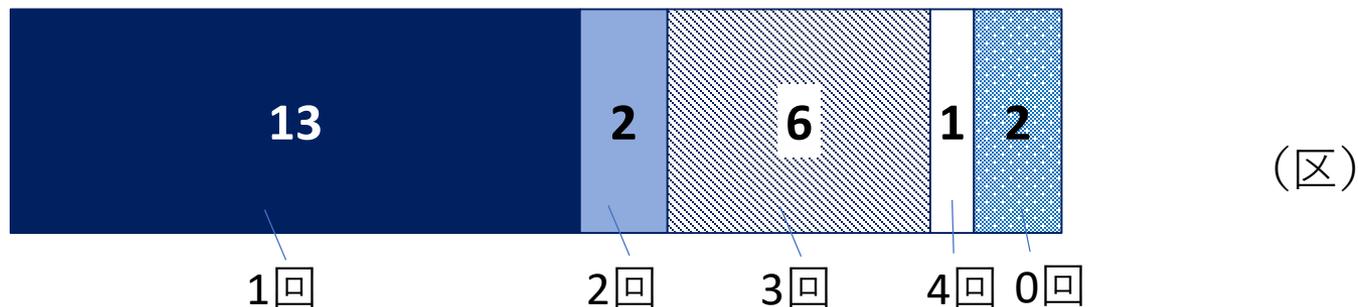


- 対応策が実施され、評価及び改善を行っている
- 対応策について具体化されている
- 対応策について具体化されていない

課題抽出、対応策の検討をほぼすべての区で実施し、対応策の実施および評価改善を実施した区が増加。

(カ) 医療・介護関係者の研修 対応策の実施～その1～

研修会の実施回数



22区 合計78回の研修会を開催。

0回の2区はいずれも新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止。

研修テーマ

A C P

- ・ アドバンス・ケア・プランニング多職種研修会
- ・ 人生会議～その人が望む最期を実現するために～

意思決定支援

- ・ ひとり暮らしで意思確認が難しい人の最期に向かう支援について
- ・ ターミナル患者の事例を通して意思決定支援について学ぼう！
- ・ 意思表示困難な患者に寄り添う意思決定支援

入退院支援

- ・暮らしを支える各職種の役割と機能の理解
～退院時に「つなぐ」ために～

認知症への 対応

- ・認知症、看取りの際の意思決定
- ・認知症支援のための事例検討会
- ・ひとり暮らし認知症高齢者の気持ちに寄り添う在宅支援を考える

連携

- ・これからの医療と介護の連携をどうすすめるか
- ・医療職との上手な連携
- ・本人主体の看取りを考えるそれぞれの役割と効果的な連携

その他

- ・お口の健口のために～口腔ケアについて～
- ・地域連携と栄養管理
- ・ポリファーマシー

(キ) 地域住民への普及啓発 対応策の実施～その2～

講演会・研修会

ACP	<ul style="list-style-type: none">・ これからのACPを考えよう・ 自分の最期は自分で決めよう・ 『もしバナゲーム』を使った地域学習会
在宅医療と介護	<ul style="list-style-type: none">・ かかりつけ医を持ちましょう・ ご存知ですか在宅医療・ 医療と介護が必要になったときの暮らし
認知症	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症の予防・理解・ 認知症と在宅支援について
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 歯科医師会、薬剤師会からの講話

広報紙・ホームページ

診療所、病院の各代表と 区長との対談	<ul style="list-style-type: none">・ 住み慣れた地域で暮らし続ける
-----------------------	--

診療所医師とケアマネジャー
との対談

- ・在宅医療と介護の連携を推進し
皆さんの暮らしを支えます

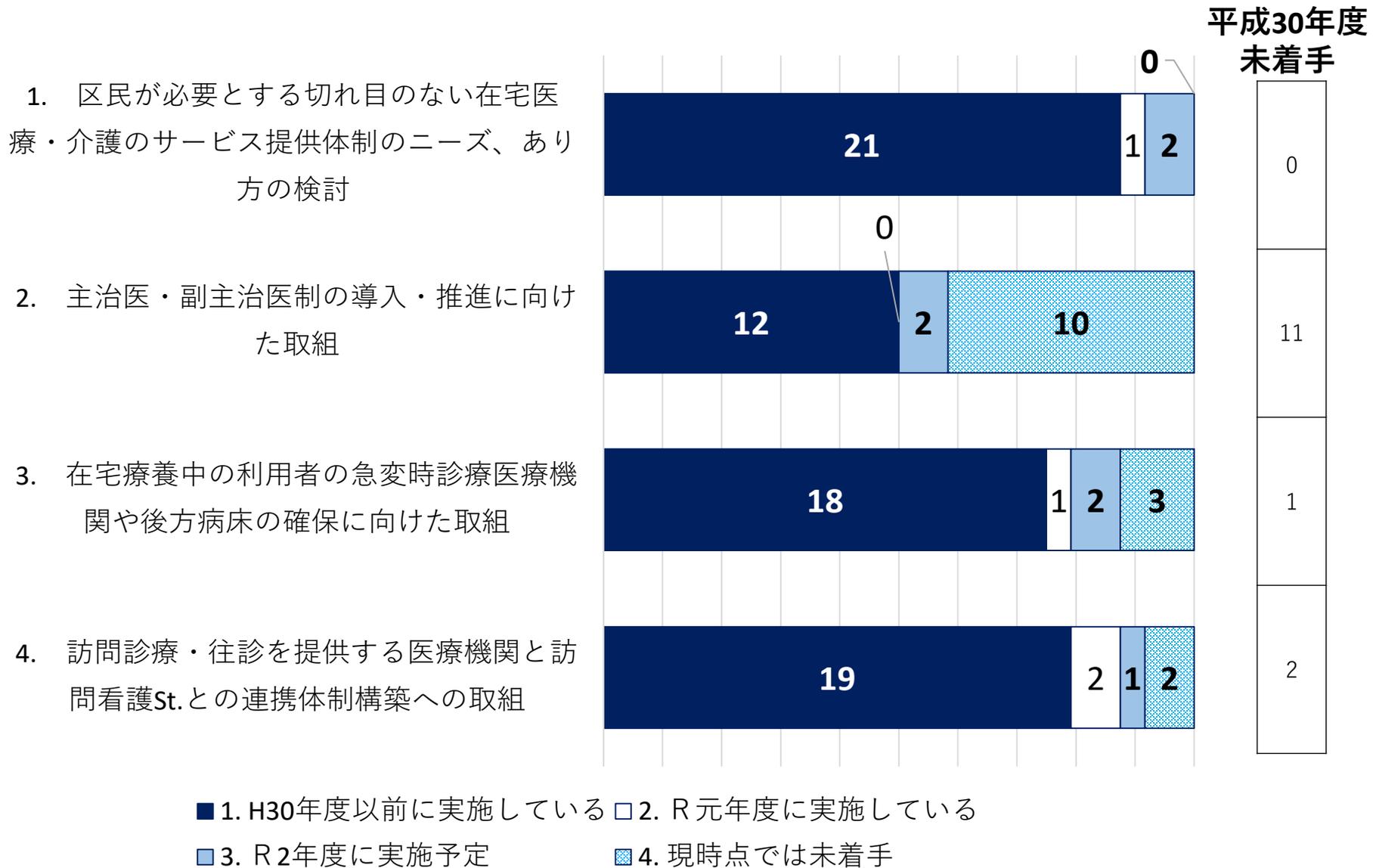
在宅医療を選択した方の
体験談を募集し紹介

- ・自宅で手をつないで笑顔で逝った主人
- ・母を一人にしたくない思いで在宅医療を決意

リーフレット

- ・もしもの時のために
- ・安心して住み続けるために

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 対応策の実施～その3～



入退院支援

- ・ ケアマネジャーから病院への入院時情報提供は増えたが、病院からは情報提供できていない。 → 事前アンケートを実施し、多職種研修を開催。
- ・ 区内では救急病院・地域包括ケア病棟が少なく他区への入院となる場合が多い。 → 近隣区を含めた病診連携の会を開催。
- ・ ケアマネジャー等は退院支援の実際を知らない。 → 病院内を見学する『病院ツアー』を開催し病院の退院支援の現状を伝えた。
- ・ 区内病院のつながる場がない → 区内病院の情報交換連絡会を開催。

日常生活療養（緊急時含む）

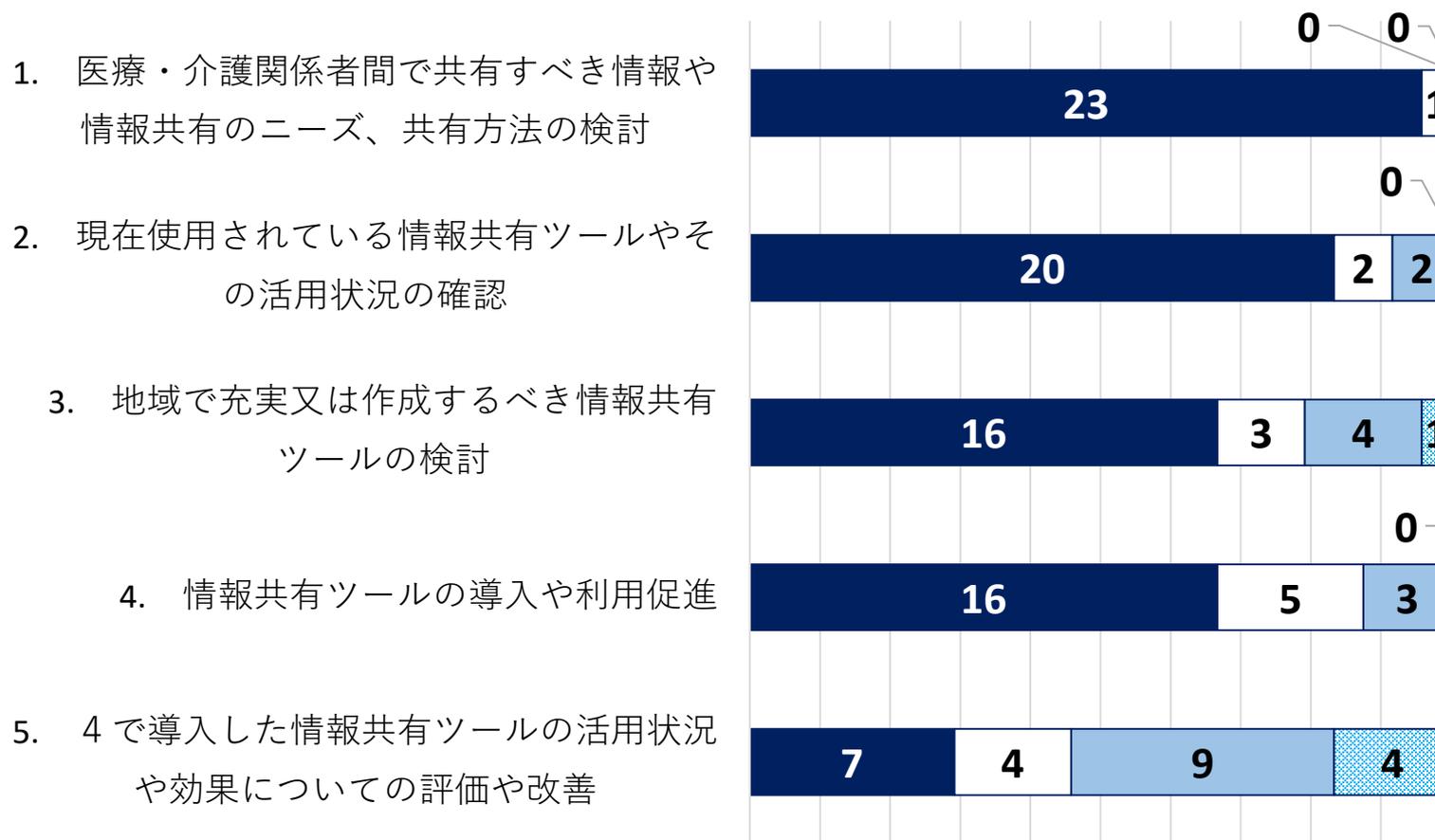
- ・ 病院の従事者が在宅医療や訪問看護についての知識がないために在宅医療につなげない事例が多いことが考えられる。 → 病院へ在宅医が病院へ出向いて研修会を実施。
- ・ 年末年始、連休等の対応に向けてのバックアップ体制について検討。
- ・ 多職種がお互いの役割への理解が乏しく。共通認識を持った上での支援方針の決定が困難。 → 多職種研修会の開催。

看取り

- ・ 関係機関（団体）へのアンケートから看取りに関する課題等を把握。
- ・ 多職種でACPをテーマに区民啓発講座の企画・実行

(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援 対応策の実施～その4～

平成30年度
未着手



0
1
0
1
7

■ 1. H30年度以前に実施している
 □ 2. R元年度に実施している
■ 3. R2年度に実施予定
 ■ 4. 現時点では未着手

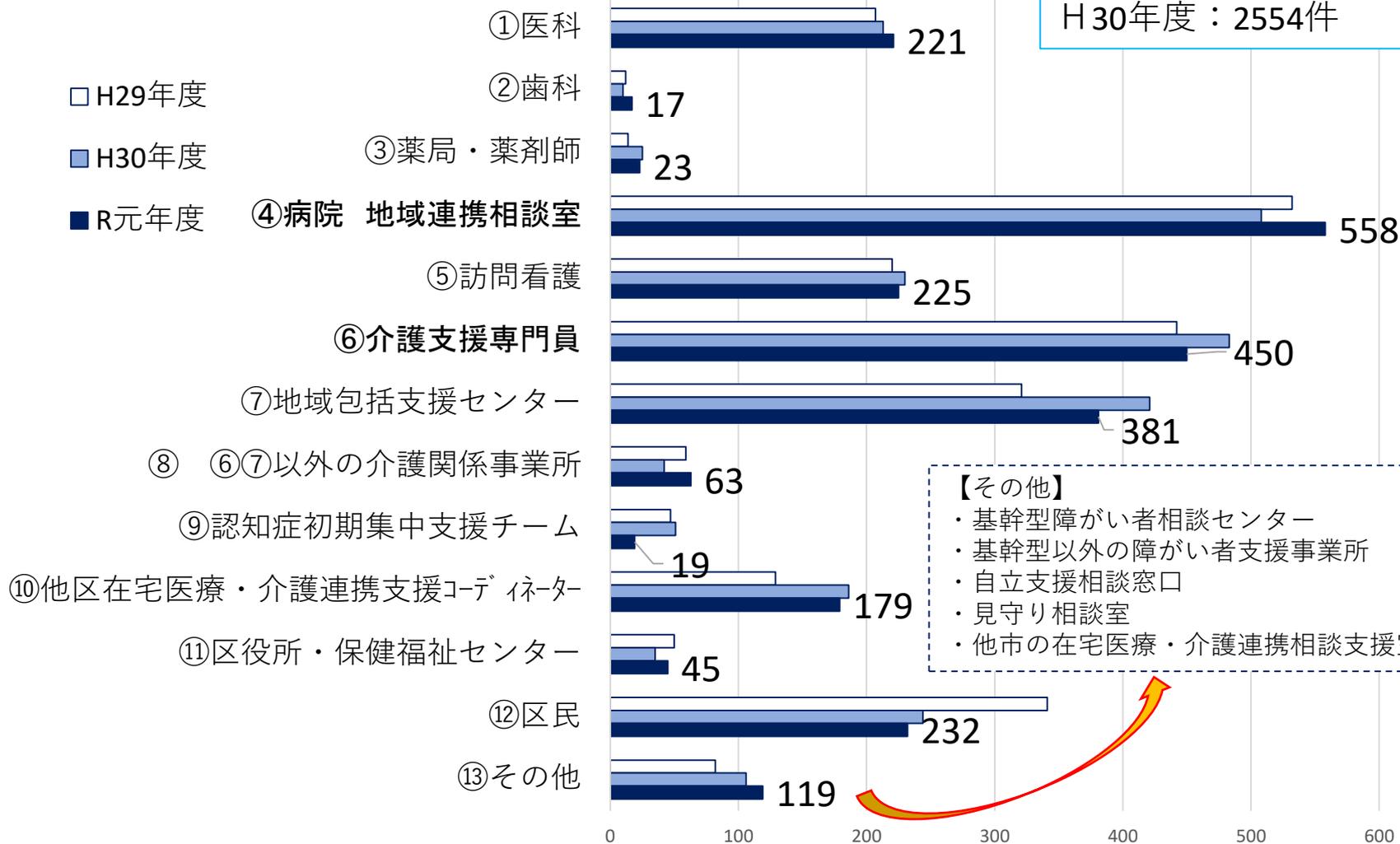
(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 対応策の実施～その5～

個別ケース相談（相談者別内訳） 相談件数 2532件

【相談件数】

H29年度：2456件

H30年度：2554件

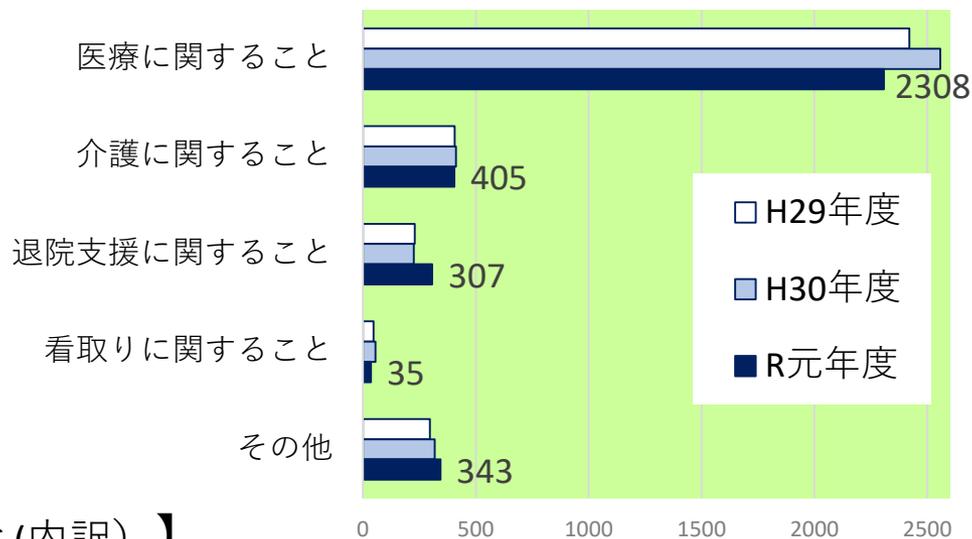


【その他】

- ・基幹型障がい者相談センター
- ・基幹型以外の障がい者支援事業所
- ・自立支援相談窓口
- ・見守り相談室
- ・他市の在宅医療・介護連携相談支援室 等

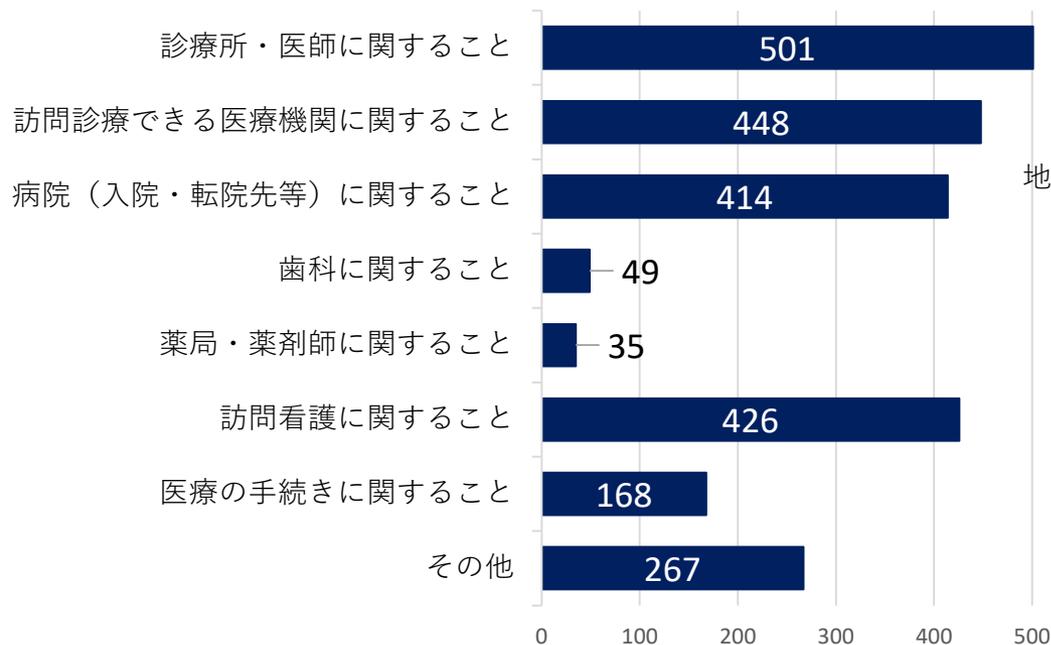
病院地域医療連携室、介護支援専門員、地域包括支援センターからの相談が多い。

個別ケース相談（相談内容別内訳：複数回答）

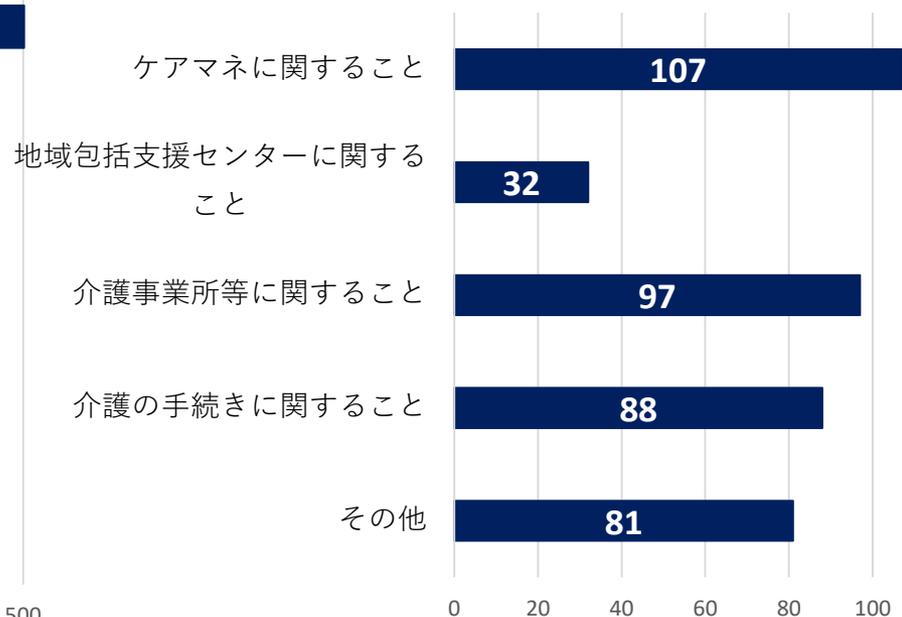


『退院支援に関すること』
がH30年度に比し82件増加

【医療に関すること(内訳)】



【介護に関すること(内訳)】



会議・研修会等への参加

		H29年度	H30年度	R元年度
会議出席回数		1873	2012	2120
内訳	市・区の会議、研修会	713	721	727
	関係機関との会議、研修会	1160	1291	1393
	(再掲) 地域ケア会議	203	196	144